

今後のエンピリカルソフトウェア工学に関する研究開発の一層の促進を目的として、本小特集（2021年1月号掲載）を企画致します。

本小特集は、エンピリカルソフトウェア工学に関する科学的な貢献、ツール・システムの開発と評価、産業界での経験報告など、幅広い研究を対象にしています。新しいアイデアや新規性の高い貢献、技術の強みと弱みの議論、追試研究、質的・量的分析など、様々な方面の研究を広く募集し、この分野の研究が更に発展することを目指しております。また、2019年12月に開催される10th International Workshop on Empirical Software Engineering in Practice (IWESEP2019) で発表された研究成果を発展させ投稿することを強く奨励すると同時に、同国際会議の発表論文に限らず、企画のテーマに沿った論文を一般に広く募集します。

## 1. 対象分野

主な対象は以下のとおりですが、これらに限らず実証的アプローチの論文を広く募集します。

- ・ソフトウェア開発を対象とした自動化支援
- ・ツールやシステムの開発とその運営からの知見
- ・質的・量的アプローチや混合手法を用いた実証研究
- ・技術やツールの比較・評価
- ・実験と疑似実験
- ・FLOSS 開発とソフトウェアエコシステム
- ・ソフトウェア工学における人的要因と社会的側面
- ・産業界における経験
- ・メタ分析
- ・ソフトウェアアナリティクス
- ・ソフトウェアドキュメンテーション
- ・ソフトウェアプロセスとプロダクト
- ・ソフトウェア品質管理
- ・ソフトウェア再利用
- ・テスト、検証、妥当性評価

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj\\_i\\_iss.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj_i_iss.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

## 3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で “[Special-MP] Empirical Software Engineering” を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” に承諾して頂きます。

## 4. 論文投稿締切日 2020年2月28日（金）23：59 JST 厳守

## 5. 問合せ先

畑 秀明（奈良先端科学技術大学院大学）

TEL [0743] 72-5318

E-mail : hata@is.naist.jp

## 6. 小特集編集委員会

委員長 畑 秀明（奈良先端大）

副委員長 亀井靖高（九州大）、堀田圭佑（富士通研）、Christoph Treude（University of Adelaide）

委員 林 晋平（東工大）、山下一寛（富士通研）、神田哲也（大阪大）、槇原絵里奈（同志社大）、Passakorn Phannachitta（Chiang Mai University）、Raula Gaikovina Kula（奈良先端大）

## 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* すべての著者は、論文が採録となった場合、2020年9月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2020年10月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。<https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>
- \* オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。（オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。）  
オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。